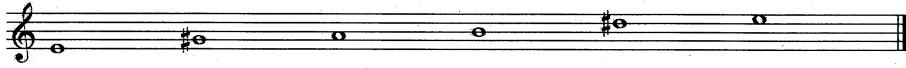
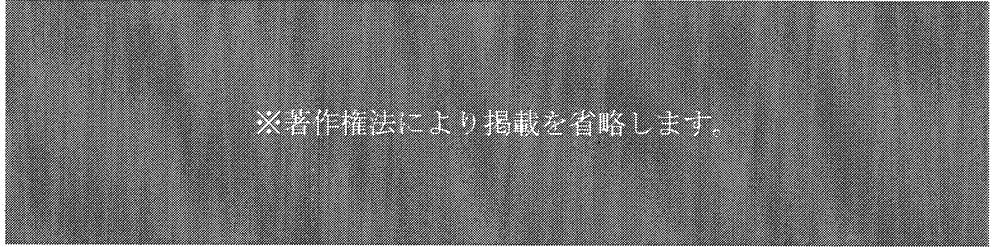


中学校音楽 解答例

1	(1)	(音の高さを変化させながら) 長く延ばして語る母音のこと。				3点			
	(2)	合奏（リトルネット部）と独奏（エピソード部）が交互に示される形式。				3点			
	(3)	読み方：モデラート		意味：中ぐらいの速さで			完全解答 3点		
	(4)	読み方：フィーネ		意味：終わり			完全解答 3点		
	(5)					完全解答 3点			
2	 ※著作権法により掲載を省略します。						4点		
3	(1)	①	セリフ	②	コトバ	③	フシ	各3点	
	(2)	大鼓		小鼓		太鼓		笛（能管）	各2点
	(3)	船底（舟底） 床が少し低くなっている、客席から見やすいようになっている。 床 太夫と三味線が演奏する場所。						各3点	
4	 						4点		

裏面に続く

	(1)	江間 章子						3点			
5	(2)	・詩や曲の背景を理解して歌おう。 ・歌詞のまとまりやフレーズを生かして表現を工夫しよう。など						3点			
	(3)	①	発声			②	身体				
								各3点			
	(1)	・表現の学習で、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどして、音楽を形づくっている要素を視覚化、動作化する。 ・鑑賞の学習で、イメージや感情を表す形容詞などのキーワードを示し、表現したい言葉を選択できるようにする。など						3点			
6	(2)	①	(ア)	創造			(イ)	知的財産権			
		②	70年								
		③	a	×	b	○	c	○			
	(1)	①	目の不自由な音楽家などでつくられた組織の最高の職位。								
		②	【選択した要素】 音色 【選択した理由】 和楽器の音色の特徴を聞き取り、音楽のよさや美しさを味わって聴かせたいから。								
		③	・箏を用いて基礎的な奏法等を学び、音色や奏法について関心をもたせた後で鑑賞の学習を行い、音色や奏法の特徴を知覚感受する。その後再び器楽の学習を行い、曲の一部を演奏しながら、器楽表現を創意工夫する。								
7	(2)	①	動機								
		②	・ソナタ形式の構造を知り、全体で提示部を鑑賞して気付いたことや感じ取ったことを共有する。その後、展開部・再現部・コーダをそれぞれICT端末で鑑賞し、提示部と比較して気付いたことや感じ取ったことをまとめる。全体で共有し、部分ごとの特徴をつかむ。								
		③	・あらかじめオーケストラで用いられる楽器の音色等を聴取させ、楽器ごとの特徴を理解した上で鑑賞させる。 ・第1学年で学習した雅楽と比較聴取させ、和楽器の音色や響きとの共通点や相違点等を知覚・感受させることで、オーケストラの響きを味わわせる。								